

2025年度 長岡大学シラバス

授業科目名	時事問題 (Current Topics)					担当教員	樋口 圭治 (ヒグチ ケイジ)	
2020-23年度 入学者(20K-23K)	科目コード	科目区分	必修・ 選択区分	単位数	配当年次	開講期	科目 特性	知識定着・確認型 AL
	2013-0-13-052	教養科目	選択	2単位	1年次	前期		
2024-25年度 入学者(24K-25K)	科目コード	科目区分	必修・ 選択区分	単位数	配当年次	開講期	科目 特性	知識定着・確認型 AL
	2413-0-13-050	教養科目	選択	2単位	1年次	前期		

① 授業のねらい・概要	
時事問題を理解するための知識を身につけ、時事問題に対して関心を高めることを目的とする。時事問題に関心を持ち、これを理解するための知識を得ることは、自分が生きている社会に対する理解を深めることになる。授業では、政治、経済、社会・環境、国際の4つの分野から時事問題を取りあげ、これを理解するための基礎知識について学ぶ。	
② ディプロマ・ポリシーとの関連	
職業人として通用する能力 情報収集・分析能力	
③ 授業の進め方・指示事項	
・テキスト(教科書)を使用する。使用するテキストの詳細は、下記の「⑤テキスト(教科書)」を確認すること。授業にテキストを持参すること。 ・必要に応じて資料を配布する。	
④ 関連科目・履修しておくべき科目	
⑤ テキスト(教科書)※授業で使用する。	
ニュース検定公式テキスト編集委員会編 日本ニュース時事能力検定協会監修(2025)『2025年度版ニュース検定 公式テキスト&問題集「時事力」基礎編(3・4級対応)』毎日新聞出版 *毎年3月下旬頃に出版される。シラバス作成時点では、2025年度版が出版されるという推測のもと記入している。2025年度版が出版されない場合、2024年度版を使用する。	
⑥ 参考図書・指定図書 ※授業では使用しないが、授業内容に関係し、理解を深めるために必要とする。	
ニュース・リテラシー研究所編『【図解】まるまわり時事用語(2024-2025年版)』(株)新星出版社。2025-2026年版が出版された場合には、そちらを参考とする。 朝日新聞出版編『新 地政学』朝日新聞出版	
⑦ 担当教員からのメッセージ(昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等)	
テキストの内容だけでなく、関連した最近起こったニュースの新聞記事や、それに関して私を感じたこと等を紹介し、時事への関心を高めます。	
⑧ 評価Aに対応する具体的な学習到達目標の目安	
(i) 時事問題を理解するための基礎知識を身につける。 (ii) 時事問題について、他人に自分の考えを述べることができるようになる。	

⑨ ルーブリック					
評価基準	S	A	B	C	D
評価項目	到達目標を越えたレベルを達成している	到達目標を達成している	到達目標達成にはやや努力を要する	到達目標達成には努力を要する	到達目標達成には相当の努力を要する
(i) 時事問題を理解するための基礎知識を身につける。	教科書の時事用語を、教科書を使用せずとも説明でき、さらに教科書に書かれていない時事用語も駆使できる。	教科書の時事用語を、教科書を使用せずとも説明できる。	教科書の時事用語を、教科書を使用すれば説明できる。	教科書の時事用語を、教科書を使用し、さらに教員の支援があれば説明できる。	教科書の時事用語を、教科書を使用し、さらに教員の支援があっても説明できない。
(ii) 時事問題について、他人に自分の考えを述べるができるようになる。	新聞記事の内容の背景を説明したうえで、課題の指摘と課題解決のための提言ができる。	新聞記事の内容の背景を説明したうえで、課題を指摘することができる。	新聞記事の内容の背景について、説明することができる。	新聞記事の内容の背景について、教員の支援があれば、説明することができる。	新聞記事の内容の背景について、教員の支援があっても説明することができない。

⑩ 学習到達目標（評価項目）	定期試験 (レポート含む)	小テスト	課題	発表・ 実技	授業への 参加・意欲	その他	合計
総合評価割合	60%	20%			20%		100%
(i) 時事問題を理解するための基礎知識を身につける。	30%	10%			10%		50%
(ii) 時事問題について、他人に自分の考えを述べるができるようになる。	30%	10%			10%		50%
フィードバックの方法	小テストは採点后、解説の時間を設ける。						

⑪ 授業計画と学習課題			
回数	授業の内容	授業外の学習課題と時間（分）（※特別な持参物）	
1	イントロダクション	シラバスを熟読し授業の目的を理解したうえで授業に参加する。	120分
2	時事問題（政治分野）の解説	授業終了後に授業で説明した教科書の重要箇所の確認を行う。	180分
3	時事問題（政治分野）の解説	授業終了後に授業で説明した教科書の重要箇所の確認を行う。	180分
4	時事問題（経済分野）の解説	授業終了後に授業で説明した教科書の重要箇所の確認を行う。	180分
5	時事問題（経済分野）の解説	授業終了後に授業で説明した教科書の重要箇所の確認を行う。	180分
6	時事問題（暮らし）の解説	授業終了後に授業で説明した教科書の重要箇所の確認を行う。	180分
7	時事問題（暮らし）の解説	授業終了後に授業で説明した教科書の重要箇所の確認を行う。	180分
8	時事問題（社会・環境）の解説	授業終了後に授業で説明した教科書の重要箇所の確認を行う。	240分
9	時事問題（社会・環境）の解説	授業終了後に授業で説明した教科書の重要箇所の確認を行う。	180分
10	時事問題（社会・環境）の解説	授業終了後に授業で説明した教科書の重要箇所の確認を行う。	180分
11	時事問題（国際）の解説	授業終了後に授業で説明した教科書の重要箇所の確認を行う。	240分
12	時事問題（国際）の解説	授業終了後に授業で説明した教科書の重要箇所の確認を行う。	180分
13	時事問題（文化）の解説	授業終了後に授業で説明した教科書の重要箇所の確認を行う。	120分
14	時事問題（地政学）の解説	授業終了後に授業で説明した教科書の重要箇所の確認を行う。	240分
15	時事問題（地政学）の解説	授業終了後に授業で説明した教科書の重要箇所の確認を行う。	180分

⑫ アクティブラーニングについて
知識定着・確認型ALを採用する。新聞記事などを用いた現実の現象説明への応用にも取り組む。 小テストを行い、場合によっては小テストの結果をもとに議論を深める。

※以下は該当者のみ記載する。

⑬ 実務経験のある教員による授業科目
実務経験の概要
実務経験と授業科目との関連性